

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和6年1月11日（木）17：25～18：15
3. 場所：原子力規制庁8階会議室（ATENAはオンライン出席）
4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ

技術基盤課

佐々木企画調整官（①、②）、戸田係員（①、②）

システム安全研究部門

小嶋統括技術研究調査官（①）、田口主任技術研究調査官（①）

検査グループ

専門検査部門

森田上席原子力専門検査官（テレビ会議システムによる出席）（①）

原子力エネルギー協議会（ATENA） 事務局長 他4名（①、②）

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子力設備グループ 担当 他1名（①）

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネージャ 他2名（①）

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 設備保全グループ

副リーダー 他2名（①）

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力経年対策グループ 副長 他1名（①）

日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長 他1名（①）

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 機器設計部 原子炉機器設計課

主席 他3名（①）

5. 要旨：

①米国ロビンソン原発2号機の炉心そうの割れ

- 令和5年12月7日に ATENA と面談を実施し、炉心そう全周破断時の安全性について、非公開としている2ページについて、できるだけ開示できないか検討し、再度提出するよう依頼していた。その際に ATENA からは対応する旨の発言があった。
- ATENA から資料1に基づき、見直し結果の説明及び供用期間中検査の VT-3 ビデオ画像見直し結果について説明を受けた。
- 原子力規制庁から炉心そう割れ事象対応に係るスケジュールについて、米国の情報収集について説明を追加するよう依頼した。
- ATENA から対応する旨の返答を受けた。

②ATENA の枠組みに関する活動について

- 原子力規制庁から、令和5年度第57回原子力規制委員会（令和6年1月10日）

において石渡委員より発言のあった ATENA が法人でない点について、ATENA として整理し説明するよう依頼した。

○ ATENA から対応する旨の返答を得た。

6. 配布資料：

資料 1 H.B. ロビンソン 2 号機 炉心槽割れに係る対応状況について